



令和6年9月30日

担当課	文化振興課
担当者	福田・前田・後藤
電話	文化振興課 (073) 435-1194 博物館 (073) 423-0003
内線	3021

和歌の聖地・和歌の浦誕生千三百年記念事業をスタートします。

聖武天皇が和歌浦に行幸してその景観を讃え、歌人の山部赤人が「若の浦に 潮満ち来れば 瀉を無み 葦辺を指して 鶴鳴き渡る」という名歌を詠み、それ以来和歌の浦は歌人の憧れの地となり、「和歌の聖地」となりました。今年は今和歌の聖地の歴史が始まって1300年を迎えます。それを記念して10月5日（土）から11月24日（日）に開催される「和歌の聖地・和歌の浦誕生千三百年記念大祭」と連携し、市の主催事業として以下の記念事業を開催します。

■博物館特別展「聖武天皇と紀伊国」

聖武天皇の行幸を機に紀伊国には都の香り豊かな仏教文化が花開くとともに、和歌の浦は王朝貴族たちのあこがれの地となり、近世においては和歌の神様のいます地として歌人や画家だけでなく庶民にも広く愛される景勝地となりました。

今回は行幸1300年を記念する特別展及びシンポジウムを開催し、聖武天皇の事績を市民に広く紹介するとともに、聖武天皇の行幸を機にこの地で花開いた文化を紹介します。

○特別展

【会期】 10月5日（土）～11月24日（日）

休館日 月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【入館料】 一般・大学生500円、高校生以下無料

【内容】 聖武天皇の時代の天平文化を象徴する資料や聖武天皇行幸前後の紀伊国の仏教文化の隆盛を示す市内の紀三井寺・総持寺等に伝来した仏像・仏画といった資料、さらには和歌の浦に鎮座する玉津島神社の和歌関係資料など、全部で約60件の資料を展示します。特に、聖武天皇関係資料は、奈良国立博物館や東大寺から借用して展示します。



聖武天皇像
(奈良県東大寺蔵)



すごろく
双六（正倉院宝物の精密な模造）
(奈良国立博物館蔵)



しんひつ
聖武天皇の真筆と伝わるお経の一部
(奈良国立博物館蔵)

○シンポジウム

①「文化財をまもり・つたえること」

【内 容】 近年の人口減少や過疎化により、地域の文化財の維持が困難な時代を迎えるなか、文化財を守り、伝えていくことについて、文化財保護の最前線の専門家による事例報告後にパネルディスカッションを行い、保護の現状や未来像について明らかにします。

【日 時】 10月13日（日）午後1時～午後4時30分

【場 所】 和歌山城ホール（小ホール） 入場無料

【登壇者】（敬称略）

事例報告内容

絵画の補修技術を伝えること

なかののりゆき
中野慎之（文化庁文化財調査官）

考古資料の修理方法

よこすかともみち
横須賀倫達（文化庁文化財調査官）

奈良国立博物館の修理事業の実際

たにぐちこうせい
谷口耕生（奈良国立博物館企画室長）

仏像盗難対策

おおこう ともゆき
大河内智之（奈良大学准教授）

文化財の修理事業にたずさわって

あめのもりひさてる
雨森久晃（公益財団法人元興寺文化財研究所研究員）

パネルディスカッション

上記の報告者と内田真雄（高槻市立今城塚古代歴史館）
うちだまさお いましろづか

②「聖武天皇 和歌浦行幸サミット」

【内 容】 なぜ聖武天皇は即位してすぐの行幸先に和歌浦を選んだのか。美術、古代史、考古学の気鋭の研究者が一堂に会し、それぞれの立場から討論し、和歌浦の土地のもつ意義や魅力をより一層明らかにします。

【日 時】 10月19日（土）午後1時～午後4時30分

【場 所】 和歌山城ホール（小ホール） 入場無料

【登壇者】（敬称略）

美術の立場 ない とう きよはら
内藤栄（大阪市立美術館）

古代史の立場 にしもとまさひろ
西本昌弘（関西大学名誉教授）

よしかわとしこ
吉川敏子（奈良大学教授）

考古学の立場 おだ ゆうき
小田裕樹（奈良文化財研究所）

つる みやすとし
鶴見泰寿（名古屋大学教授）

■「和歌の浦と源氏物語」短歌ワークショップ・座談会

「和歌の浦と源氏物語」をテーマとして短歌ワークショップ・座談会を開催し、NHK大河ドラマ「光る君へ」と関係の深い「源氏物語」と和歌の浦との関係をひもとき、和歌の聖地の誕生の歴史と、現代までつながる短歌の文化にふれます。



【日 時】 10月26日(土)

11時00分～16時30分

【場 所】 片男波健康館(和歌山市和歌浦南3丁目1700)

【内 容】 ①短歌ワークショップ(定員20人(申込多数の場合は抽選))

11時00分～14時30分

和歌の神をまつる玉津島神社周辺を散策した後、和歌山市出身の歌人・おぐろよ小黒世茂氏の指導により短歌を自作します。

②座談会「和歌の浦と源氏物語」(定員100人(申込多数の場合は抽選))

15時00分～16時30分

歴史と文学の観点から和歌の浦と源氏物語の関係をひもときます。

講師：むらせ村瀬 のりお憲夫氏(近畿大学名誉教授)

みき三木 まさひろ雅博氏(梅花女子大学 文化表現学部教授)

かねだ金田 よしひろ圭弘氏(近畿大学附属和歌山高等学校・中学校図書館長)

おぐろ小黒 よも世茂氏(歌人)

あちきたき遠北喜美代氏(玉津島神社ごんねぎ権禰宜)

【申 込】 10月18日(金)締切、参加無料

申込フォームもしくはハガキで(必着1組2人まで)、住所・氏名・電話番号・参加希望(①/②/両方)を記して文化振興課へ

申込フォーム

